

ライバルは、

祖父ちゃんの乗る

「オーールド・クボタ」さ。

ペトナムー即ち三角地帯を有し、世界第三位の米輸出国として、人口増加が鋭く世界の食料供給の拠点とならうとする彼らの地。そこで、不思議な光景に出くわすことがある。時代を越えたクボタのトラクタが仲良く水田を耕作している、なんと不思議らしいその実、数代におたつてクボタのトラクタを継用してくれている、ある家の様だ。

「農業人口が減少し続ける環境下で、人口増加に伴う世界の食糧不足に備えられないものなのさ」

クボタはそんな苦しい壁に、真っ向挑戦しています。

低燃費でも高収穫をもたらすことのできる高い効率性、過酷な三田作にも対応できる優れた耐久性。業界でシムスにも対応できる品質な投資性。今が、クボタのトラクタは、農業大国ペトナムで、リーディングブランドとしてのポジションを獲得し、その性能を越えた支持は、クボタのライバルは中古のオーールド・クボタだけだと言われるまでになりました。

今日もクボタは、世界の食料供給を担うペトナムの農業を支えるという使命を、一歩一歩、着実に果たしているのです。何代にもわたって、途切れることなく。

壁がある。
だから、行く。